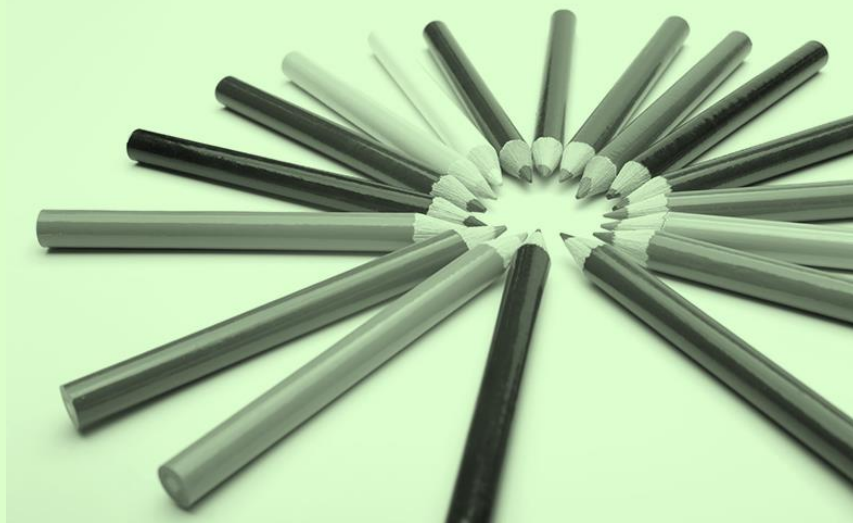


平成 29 年度 生涯学習推進のための 研 修 案 内



栃木県総合教育センター
生涯学習部

研修内容の詳細や
生涯学習部の情報は、
こちらからご覧いただけます。



とちぎレインボーネット



<http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/information/>



は じ め に

昨年、ユネスコ無形文化遺産に登録された18府県33件の山・鉾・屋台行事に、栃木県からは烏山の山あげ行事と鹿沼今宮神社祭の屋台行事が選ばれました。これは、「山」や「彫刻屋台」が伝統工芸による芸術的美を有し、歴史的価値が高いことと、何よりも地域住民が数百年に渡って伝統行事を継承し、地域コミュニティのまとまり、絆が形成・保持されていることが認められた成果です。

しかしながら、近年、栃木県においても、多くの地域で人と人とのつながりの希薄化が懸念されています。また、グローバル化、情報化、国際化等により、社会状況は著しく変化しています。そして、県の総人口は、平成17年(2005年)をピークに減少傾向に転じており、少子高齢化はますます進展していくことが予想されます。このように、地域コミュニティが抱える問題は、複雑化、深刻化してきています。

栃木県教育委員会では、生涯学習の機会の充実により、学びを通じた県民同士の交流や社会参加の促進を図り、地域課題の解決、地域の活性化、そして県民の絆づくりを進めて参りました。昨年度から取り組んでいる「栃木県生涯学習推進計画五期計画「とちぎ輝き『あい』育みプラン」」におきましても、「ともに学びともに“とちぎ”の未来をひらく人づくり」を基本目標に、学びの充実と学びを通じた豊かな人間関係づくり、協働による課題の解決を目指し、様々な施策を展開しているところです。

栃木県総合教育センターでは、生涯学習を推進する上で、その中核を担う社会教育の立場から、県民や県・市町等の生涯学習・社会教育推進担当者を対象に、地域活動に関わる指導者養成と関係職員の専門性の向上を目指し、様々な研修を開催するとともに、生涯学習推進のための諸事業を実施して参りました。

平成29年度の研修については、引き続き家庭と地域の教育力の向上のための地域活動指導者養成に重点をおき、実践的な知識や技術の習得と関係者間の情報交換や研究協議による相互学習により、幅広いネットワークづくりを進めて参ります。また、次世代を担う子どもたちの成長を学校と地域が共に支えていくことを目指し、これまでの「学校支援」から「学校と地域の連携・協働」へと発展していけるよう、プログラムの工夫を図って参ります。

参加を希望される方々は、本冊子(一次案内)のほか、HP:栃木県学習情報提供システム「とちぎレインボーネット」の掲載や、追って関係機関等に配布する各研修ごとの詳しい開催要項(二次案内)を御覧いただき、各研修の日程、内容を御確認の上、お申し込みください。多数の皆様の受講をお待ちしております。

平成29年3月

栃木県総合教育センター所長

軽部 幸治

目 次

はじめに

I	総合教育センター生涯学習関係事業	-----	ページ 1
II	平成29年度生涯学習部研修一覧	-----	2
III	生涯学習部研修参加申込み手続きの御案内	-----	3
IV	平成29年度生涯学習部研修開催要項		

	研 修 名	ページ
生涯 学 習 指 導 者 研 修	女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）	4
	家庭教育オピニオンリーダー研修	5
	家庭教育支援プログラム指導者研修 ○親学習プログラムコース	6
	○思春期版家庭教育支援プログラムコース	7
	○スキルアップコース	8
	ウィークエンド青少年セミナー	9
	放課後活動指導者研修	10
	学校と地域の連携推進セミナー	11
	地域教育コーディネーター養成セミナー	12
職 員 等 研 修	生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅰ	13
	生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅱ	14
	人権教育指導者専門研修	15
教 員 研 修	新任地域連携教員研修	16
指 導 者 研 修	16ミリ映写機技術指導者研修	17
講 座 開	○ライフアップセミナー ○公開講座「学びの杜の夏休み」	18

V	総合教育センター内生涯学習関係施設案内	
	◇学習情報センター（含とちぎレインボーネット）	20
	◇栃木県生涯学習ボランティアセンター	21
	（体験活動ボランティア活動支援センター）	
	◇栃木県視聴覚ライブラリー	22
	◇図書資料室	23
VI	バス案内	24

I 総合教育センター生涯学習関係事業

- 生涯学習を推進する指導者の養成【研修】
- 学習機会の提供【学習機会提供】
- 生涯学習に関する相談・情報の提供【学習相談】
- 生涯学習・社会教育の振興に関する各種調査研究【調査研究】
- 生涯学習推進に関わる支援【市町・学校・団体等支援】



研 修

県民の方々や県・市町職員等を対象に生涯学習推進のための研修を開催しています。

学習機会提供

「とちぎ県民カレッジ」「とちぎ子どもの未来創造大学」の事務局として、県内各地で開催されている様々な講座・セミナー等を総合的に案内しています。また、「学びの杜の夏休み（公開講座）」「ライフアップセミナー」など、広く一般の方々に開放し、県民の学びを支援しています。

学習相談・情報提供

- 学習情報センター
栃木県生涯学習情報提供システム（とちぎレインボーネット）を運営し、インターネットで各種の生涯学習情報を提供しているほか、電話・メール等での学習相談、講師紹介等を行っています。
- 生涯学習ボランティアセンター（体験活動ボランティア活動支援センター）
生涯学習ボランティアとして活動できる方や受入先を募ったり、その活動に関する相談に応じたりしています。また、栃木県生涯学習ボランティア活動支援情報提供システム（とちぎかがやきネット）により、インターネットでボランティア情報を提供しています。
- 視聴覚ライブラリー
DVD やビデオテープ、16 mmフィルム、プロジェクター、デジタルビデオカメラ、映写機等の貸出を行っています。
- 図書資料室
教育関係、生涯学習関係図書等の閲覧・貸出を行っています。

調査研究

生涯学習・社会教育の振興に関する各種調査研究を行っています。

市町・学校・団体等への支援

依頼に応じ、研修・情報提供・相談等を行っています。

～ともに学びともに“とちぎ”の未来をひらく人づくりを目指します～

Ⅱ 平成29年度 生涯学習部 研修一覽

◇ 生涯学習指導者研修 ◇ *の研修は、2/8に希望研修（地域教育コーディネーター養成セミナーとの合同研修）を予定しています。

No.	研 修 名	事 業 の ね ら い	事 業 概 要	参加 対象者	日数	日 程
1	女性の地域活動 推進セミナー (女性教育指導 者研修)	地域活性化のための団体活動等の在り 方について学び、社会参画に必要なスキ ルの向上を図るとともに、指導者として の資質の向上を目指す。	・地域づくりとボランティア活動 ・施設見学 ・グループ研究 ・リーダーに求められるコミュニケーション スキル 等	〔推・公募〕 県民	8	7/21, 7/22～10/ 23までに1回、 8/29, 9/20、 10/24, 11/22、 12月上旬、1/12
2	家庭教育オピニ オンリーダー研 修 ＊	家庭教育について自主的な学習、情報 や学習機会の提供、相談活動等を積極的 に行い、地域に根ざした家庭教育支援が できるリーダーの養成を目指す。	・家庭教育支援の現状と課題 ・子どもたちを取り巻く現代の課題 ・カウンセリングマインドを生かした相談の 在り方 ・フィールドワーク 等	〔推・公募〕 県民	7	9/12, 9/28, 9/29 ～11/26までに2 回、10/18, 11/1、 11/27, (2/8)
3	家庭教育支援プ ログラム指導者 研修 ＊	家庭の教育力の向上を図るために、親 同士が交流しながら子育てに必要な知識 やスキル等を学ぶ「家庭教育支援プログ ラム」を活用できる指導者を養成する。	・親学習プログラムコース	県民	4	6/14, 6/27, 7/10 7/20, (2/8)
			・思春期版家庭教育支援プログラムコース	県民	2	9/1, 9/27, (2/8)
			・スキルアップコース	県民	4	6/14, 7/10, 9/1、 1/17, (2/8)
4	ウィークエンド 青少年セミナー	青少年が地域活動やボランティア活動 に積極的に参加できるよう、演習を中心 とした主体的な活動をおとして学び、青 少年リーダーとしての実践力を養う。	・地域活動の事例発表 ・レクリエーション・工作遊び体験 ・ボランティア活動事業の企画、立案、準備、 実践 等	青少年 大学生 高校生	5	6/10, 6/17, 7/15、 7/22, 7/29
5	放課後活動指導 者研修＊	子どもたちが地域社会の中で心豊かで 健やかに育まれる環境づくりの推進のた め、主に放課後活動に関わる指導者の資 質向上を図る。	・放課後活動指導者に求められるもの ・子どもの遊びの理解と支援 ・もしもの時も落ち着いて ～子どもを守る危機管理～ 等	社 県民	5	5/31, 6/28, 7/13 9/4, 10/3, (2/8)
6	学校と地域の連 携推進セミナー ＊	学校と地域の連携に携わる関係者の資 質・能力の向上とネットワーク構築を目 指し、学校と地域の連携を推進していく ためのコーディネート機能の充実を図る。	・今なぜ学校と地域の連携が求められるのか ・学校と地域の連携の実際 等	社 教 県民	2	6/1, 8/4, (2/8)
7	地域教育コーデ ィネーター養成 セミナー	地域教育コーディネーターの果たす役 割の重要性について学び、地域課題の解 決に向けた取組等の充実と住民同士の交 流や協働を促すための基礎を培うことを 目指す。	・栃木県における地域教育コーディネーター の養成について ・地域教育コーディネーターに期待される役 割	社 教 県民	1	2/8

◇ 県・市町職員等研修 ◇

8	生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅰ	生涯学習・社会教育に初めて携わる職員に、本県の生涯学習推進体制、生涯学習関係法令・各種答申など、生涯学習に必要な基礎知識を提供する。	・生涯学習推進における行政職員への期待 ・本県の生涯学習推進計画 ・関係法令・答申・計画について ・学習プログラムの企画・立案 等	社	3	4/25, 5/9, 5/24
9	生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅱ	生涯学習の振興や社会教育推進に向けて、先進事例や国の動向を知ることによって広い視野を持ったり、演習をととして技能の向上を図ったりすることでスキルアップを目指す。	・参加体験型学習の実際 ・これからの社会教育行政の在り方 等	社	2	1/24, 2/20
10	人権教育指導者専門研修	人権教育を推進するため、指導者としての資質・能力の向上を目指す。	・人権教育の視点 ・現地研修 ・ワークショップ体験 ・学習プログラム作成 等	社教	6	6/13, 6～7月(2回のうち1回選択) 7/24, 8月上旬, 9/5, 9/26

◇ 地域連携教員研修 ◇

11	新任地域連携教員としての職務、今日的な教育課題、地域連携の進め方等について理解を深め、地域連携教員としての資質の向上を図る。	・地域連携教員の活動の実際 ・地域連携教員としてのマネジメント ・演習 等	教（新任地域連携教員）	2	6/16, 10/16
----	---	---	-------------	---	-------------

◇ 視聽覺教育指導者研修 ◇

12	16ミリ映写機技術指導者研修	視聴覚教材・機材の利用促進を図るため、16ミリ映写機技術者養成講習会の指導者を養成する。 16ミリ映写機技術修得証明書取得者の技術及び資質の向上を目指す。	・16ミリ講習会の企画・運営 ・16ミリ映写機操作指導のポイント	社視	1	5/17
----	----------------	---	---	----	---	------

◇ 公 開 講 座 ◇

ライフアップセミナー 総合教育センター研修の中から単発の講話等を広く県民一般に開放するものです。

生涯学習推進セミナー 学びの杜の公開講座 7/29

総合教育センターの施設・設備を生かした公開講座を提供し、広く県民一般の学びを支援するものです。

※参加対象者…社：県・市町社会教育関係職員、 県民：県民一般、 教：教職員、 視：視聴覚ライブラリー職員 [推]：要推薦
(新任地域連携教員研修以外の教職員の旅費は学校負担、土・日開催の研修・セミナーに参加する場合は原則個人参加となります。)

※研修日程については講師等の都合により変更になる場合もあります。御了承願います。

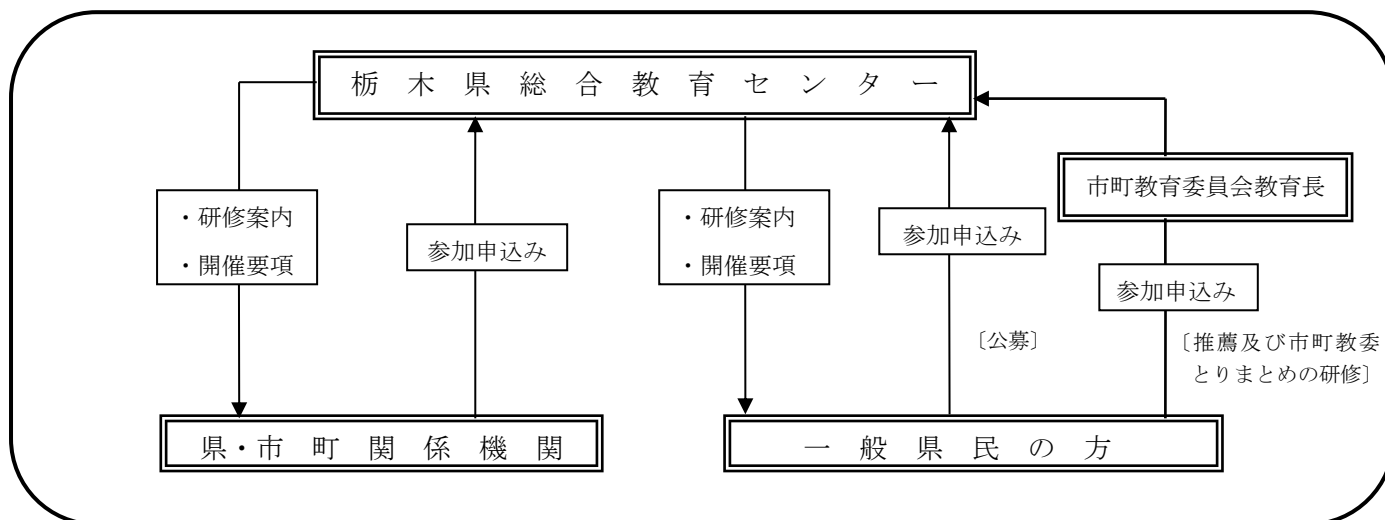
Ⅲ 生涯学習部研修参加申込み手続きの御案内



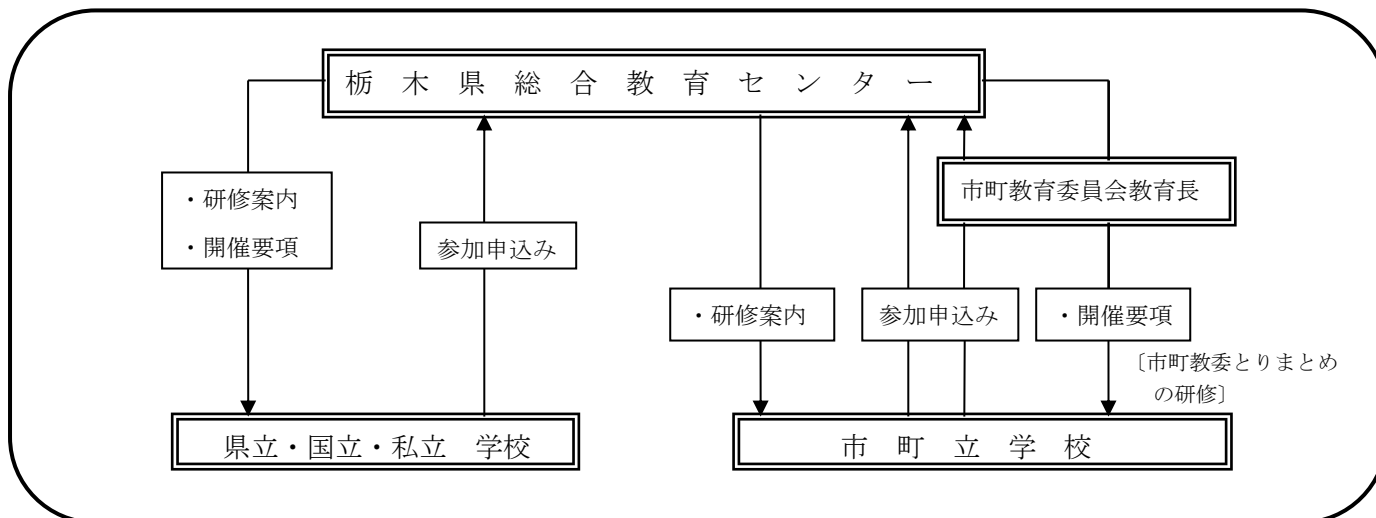
各研修の開催 1～2 か月前に開催要項を配布いたします。

研修希望者は、開催要項を御覧の上、お申し込みください。

◇ 県・市町関係機関・一般県民の皆様からの申込み手続きは、次のとおりです。



◇ 教職員の皆様からの申込み手続きは、次のとおりです。



※ 土曜・日曜日開催の研修・セミナーに参加する場合には、原則として個人参加での対応をお願いいたします。

研修参加申込み・問い合わせ先

栃木県総合教育センター生涯学習部

〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070番地

電 話 028-665-7206

FAX 028-665-7219

Ⅳ 平成 29 年度生涯学習部研修開催要項

〈平成 29 年度〉

地域を活性化させるリーダーを目指して

女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）

◇対 象 ○市町において女性団体の指導的立場にある方
○女性学級や家庭教育学級、その他の学習グループにおける指導的立場の方
〔男女を問わず〕

◇定 員 30名

ねらい

男女共同参画の推進が叫ばれて久しく、県内においても男女共同参画に関する各種行事が活発に実施されるようになっていきます。男女共同参画社会の実現には、一人一人がその個性や能力を十分に発揮することが不可欠です。ここでは、地域活性化のための団体活動等の在り方について学び、社会参画に必要なスキルの向上を図るとともに、指導者としての資質の向上を目指します。

申込み

研修の開始1～2か月前に開催要項と申込書を配布（広報）いたします。
受講希望者は、開催要項を御覧の上、各市町教育委員会にお申し込みください。
各市町教育委員会教育長より推薦の申込み（推薦募集）となります。
また、総合教育センターに直接の申込み（一般公募）も受け付けています。

◇その他

研修時間は、10：00～16：00です。
本研修は、「とちぎ県民カレッジ」の登録講座です。
全日程の8割以上出席した方に修了証を授与します。
女性団体等において指導的立場にある男性リーダーの申込みも受け付けます。
最終日は、閉講式修了後、研修修了者と栃木県女性教育推進連絡協議会との交流会が予定されています。
生後6か月以上の未就学児までのお子さんを対象に、一時預かり（託児）を実施します。
なお、託児希望の受付は、総合教育センターが研修会場となる場合のみとなります。

研修プログラム

回	期日・曜日	内 容	講 師	会場
1	7/21(金)	開講式 講話「地域活動の現状と課題解決に向けてリーダーに期待すること」 オリエンテーション・センター内施設見学 講話「地域づくりとボランティア活動」 情報交換・グループ研究①	総合教育センター職員 県生涯学習課長 総合教育センターボランティア 大学等職員・活動実践者 総合教育センター職員	総合教育センター
2	7/22(土)～ 10/23(月)	グループ研究②：「地域活動の実際」 (フィールドワーク)		機 関 関 係
3	8/29(火)	講話「男女共同参画社会の実現に向けて」 施設見学「とちぎ男女共同参画センター内関連施設」 グループ研究③	とちぎ男女共同参画センター職員 〃 総合教育センター職員大学等職員	共同参画セ ンター とちぎ男女
4	9/20(水)	講話「女性教育推進連絡協議会について ～女性団体活動の実際～」 事例発表・グループ協議 「実践事例から学ぶ地域活動の実際」 グループ研究④	栃木県女性教育推進連絡協議会 活動実践者（女推協） 総合教育センター職員	総合教育センター
5	10/24(火)	演習「リーダーに求められるコミュニケーションスキル」 グループ研究⑤	総合教育センター職員 〃	
6	11/22(水)	グループ研究⑥（発表会リハーサル等）	総合教育センター職員	
7	12月第2土 または日	講話（パルティ公開講座）	大学職員等	施 関 設 係
8	1/12(金)	グループ研究⑦発表会・講評 講話「地域で活躍するリーダーに求められるもの」 閉講式（交流会）	県生涯学習課職員 大学等職員 栃木県女性教育推進連絡協議会	セ 総 ン 合 タ 教 ー 育

〈平成 29 年度〉
地域での家庭教育支援者を目指して

〈地域教育コーディネーター養成セミナー〉

家庭教育オピニオンリーダー研修

- ◇対 象 ○地域で家庭教育支援に携わっている方
 ○地域で家庭教育支援に関する活動に意欲のある方
 ○PTA 指導者
- ◇定 員 50人

ね
ら
い

核家族化や地域における地縁的なつながりの希薄化等を背景とし、家庭での教育が困難な時代になり、社会全体での家庭教育支援の必要性が高まっています。こうした中、家庭教育について自主的な学習、情報や学習機会の提供、相談活動等を積極的に行い、地域に根ざした家庭教育支援ができる方の養成を目指します。

申
込
み

研修の開始 1 ～ 2 か月前に開催要項と申込書を配布（広報）いたします。
 受講希望者は、開催要項を御覧の上、各市町教育委員会にお申し込みください。
 各市町教育委員会教育長より推薦の申込み（推薦募集）となります。
 また、総合教育センターに直接の申込み（一般公募）も受け付けています。

- ◇その他 本研修は、「とちぎ県民カレッジ」の登録講座です。
 8割以上出席した方に修了証を授与します。
 研修時間は、10：00～14：30です。
 各市町教育委員会家庭教育担当者の単発の参加や参観も可能です。
 生後6か月以上未就学児までのお子さんを対象に、一時預かり（託児）を実施します。
 8回目の研修は希望研修で、地域教育コーディネーター養成セミナーとの合同開催です。

研修プログラム

回	期日・曜日	内 容	講 師	会場
1	9/12(火)	開講式 事例発表「家庭教育オピニオンリーダーの活動」 座談会「先輩オピニオンリーダーに聞く」 演習「活動を支援するコミュニケーション」 センター内施設見学	オピニオンリーダー連合会長 オピニオンリーダー連合会 総合教育センター職員 総合教育センターボランティアの会	総合教育センター
2	9/28(木)	講話「子育て家庭の現状と課題」 説明「県の家庭教育支援施策と 家庭教育を支えるボランティアの必要性」 ふりかえり オリエンテーション「フィールドワークに向けて」	大学等職員 県生涯学習課職員	
3	9/29(金)～ 11/26(日)	支部活動に参加「地域における家庭教育支援の実践」 ＊各地区で実施	オピニオンリーダー連合会 教育事務所職員 総合教育センター職員	各地区
4	9/29(金)～ 11/26(日)	ブロック研修に参加「先輩オピさんの研修会に参加しよう」 ＊各地区で実施		
5	10/18(水)	講話「子どもたちを取り巻く現代の課題」 ふりかえり 説明・演習「遊びの中で学ぶ子どもたち」	大学等職員 総合教育センター職員 総合教育センター職員 (幼児教育部・専門員)	総合教育センター
6	11/ 1(水)	講話・演習「カウンセリングマインドを生かした相談の在り方」	総合教育センター職員 (教育相談部・2人)	
7	11/27(月)	ワークショップ「研修をふりかえって」 交流会「家庭教育オピニオンリーダー連合会との交流」 発表「家庭教育支援において私たちにできること」 閉講式	総合教育センター職員 オピニオンリーダー連合会 総合教育センター職員	

希望研修 2/8(木) 13:00～16:00	説明「栃木県における地域教育コーディネーターの養成について」 講話・グループ協議等「地域教育コーディネーターに期待される役割」 講師等：大学等職員 活動実践者 県生涯学習課職員 会 場：総合教育センター
-------------------------------	--

〈平成 29 年度〉

「家庭教育支援プログラム」を活用できる指導者を狙って

〈地域教育コーディネーター養成セミナー〉

家庭教育支援プログラム指導者研修

～親学習プログラムコース～

- ◇対 象 ○地域で家庭教育支援に携わっている方
○家庭教育支援に関する活動に意欲のある方
○県・市町の教育関係職員、PTA指導者、家庭教育学級生、家庭教育オピニオンリーダー 等
- ◇定 員 70人

ね
ら
い

家庭の教育力の向上を図るために、親同士が交流しながら子育てに必要な知識やスキル等を学ぶ「家庭教育支援プログラム」のうち、「親学習プログラム」を効果的に活用できる指導者を養成します。

申
込
み

研修の開始 1～2 か月前に開催要項と申込書を配布（広報）いたします。
受講希望者は、開催要項を御覧の上、各市町教育委員会にお申し込みください。
（総合教育センターに直接の申込みも受け付けています。）

- ◇その他 研修日は、6/14（水）・6/27（火）・7/10（月）・7/20（木）です。
研修時間は、10：00～15：30です。
8割以上出席した方に修了証を授与します。
以前に「親学習プログラムコース」を修了した方は受講できません。
本研修は、「とちぎ県民カレッジ」の登録講座です。
生後 6 か月以上未就学児までのお子さんを対象に、一時預かり（託児）を実施します。

研修プログラム

回	期日(曜日)	内 容 ・ 講 師	会場
1	6/14(水)	開講式 説明「親学習プログラムとは」 演習「プログラムの体験Ⅰ」 講話「家庭教育の現状と課題、その解決のために」 県生涯学習課職員 教育事務所職員 大学等職員	総合教育センター
2	6/27(火)	演習「学びを支援するコミュニケーション」 事例発表「プログラムの実際」 演習「プログラムの体験Ⅱ」 説明「参加型の学習プログラムについて」 総合教育センター職員 活動実践者 活動実践者 総合教育センター職員	
3	7/10(月)	講話「子どもの発達と生活リズム」 演習「受講者同士のよりよい関係づくりのために」 演習「親学習プログラムファシリテーター体験Ⅰ」 大学等職員 教育事務所職員 総合教育センター職員	
4	7/20(木)	演習「親学習プログラムファシリテーター体験Ⅱ」 閉講式 総合教育センター職員	
5	9/1(金)	講話「思春期の子どもの課題と保護者の対応」 説明「思春期版家庭教育支援プログラムとは」 演習「プログラムを体験してみよう」 大学等職員 県生涯学習課職員 活動実践者	
6	9/27(水)	演習「プログラムを展開してみよう」 ふりかえり「プログラムをよりよく展開するために」 総合教育センター職員 総合教育センター職員	
7	1/17(水)	説明「学習プログラムのアレンジについて」 演習「プログラムをアレンジしてみよう」 総合教育センター職員 総合教育センター職員	

※ 部分は家庭教育支援プログラム指導者研修の他コースになりますので、参加を希望される場合は別の様式からお申し込みください。

希望研修 2/8(木) 13:00～16:00	説明「栃木県における地域教育コーディネーターの養成について」 講話・グループ協議等「地域教育コーディネーターに期待される役割」 講師等：大学等職員 活動実践者 県生涯学習課職員 会 場：総合教育センター
-------------------------------	--

〈平成 29 年度〉

「家庭教育支援プログラム」を効果的に活用・促進できる指導者を目指して

〈地域教育コーディネーター養成セミナー〉

家庭教育支援プログラム指導者研修 ～思春期版家庭教育支援プログラムコース～

- ◇対 象 ○以前に「親学習プログラムコース」を修了した方
○地域で家庭教育支援に携わっている方
○家庭教育支援に関する活動に意欲のある方
○県・市町の教育関係職員、PTA指導者、家庭教育学級生、家庭教育オピニオンリーダー 等
- ◇定 員 70人

ね
ら
い

家庭の教育力の向上を図るために、親同士が交流しながら子育てに必要な知識やスキル等を学ぶ「家庭教育支援プログラム」のうち、特に思春期の子どもを持つ保護者の家庭教育支援を充実させるために作成した「思春期版家庭教育支援プログラム」を効果的に活用できる指導者を養成します。

また、「親学習プログラムコース」を修了した指導者のスキルアップを図ります。

申
込
み

研修の開始1～2か月前に開催要項と申込書を配布（広報）いたします。
受講希望者は、開催要項を御覧の上、各市町教育委員会にお申し込みください。
（総合教育センターに直接の申込みも受け付けています。）

- ◇その他 研修日は、9/1(金)・9/27(水)です。
研修時間は、10:00～16:00です。
本研修は、「とちぎ県民カレッジ」の登録講座です。
生後6か月以上未就学児までのお子さんを対象に、一時預かり（託児）を実施します。

研修プログラム

回	期日(曜日)	内 容 ・ 講 師	会場
1	6/14(水)	開講式 説明「親学習プログラムとは」 演習「プログラムの体験Ⅰ」 講話「家庭教育の現状と課題、その解決のために」 県生涯学習課職員 教育事務所職員 大学等職員	総合教育センター
2	6/27(火)	演習「学びを支援するコミュニケーション」 事例発表「プログラムの実際」 演習「プログラムの体験Ⅱ」 説明「参加型の学習プログラムについて」 総合教育センター職員 活動実践者 活動実践者 総合教育センター職員	
3	7/10(月)	講話「子どもの発達と生活リズム」 演習「受講者同士のよりよい関係づくりのために」 演習「親学習プログラムファシリテーター体験Ⅰ」 大学等職員 教育事務所職員 総合教育センター職員	
4	7/20(木)	演習「親学習プログラムファシリテーター体験Ⅱ」 閉講式 総合教育センター職員	
5	9/1(金)	講話「思春期の子どもの課題と保護者の対応」 説明「思春期版家庭教育支援プログラムとは」 演習「プログラムを体験してみよう」 大学等職員 県生涯学習課職員 地域活動実践者	
6	9/27(水)	演習「プログラムを展開してみよう」 ふりかえり「プログラムをよりよく展開するために」 総合教育センター職員 総合教育センター職員	
7	1/17(水)	説明「学習プログラムのアレンジについて」 演習「プログラムをアレンジしてみよう」 総合教育センター職員 総合教育センター職員	

※ 部分は家庭教育支援プログラム指導者研修の他コースになりますので、参加を希望される場合は別の様式からお申し込みください。

希望研修 2/8(木) 13:00～16:00	説明「栃木県における地域教育コーディネーターの養成について」 講話・グループ協議等「地域教育コーディネーターに期待される役割」 講師等：大学等職員 活動実践者 県生涯学習課職員 会 場：総合教育センター
-------------------------------	--

〈平成 29 年度〉

「家庭教育支援プログラム」指導者としての資質・能力の向上を目指して

〈地域教育コーディネーター養成セミナー〉

家庭教育支援プログラム指導者研修

～スキルアップコース～

- ◇対 象 ○以前に「親学習プログラムコース」を修了した方
○地域で家庭教育支援に携わっている方
○県・市町の教育関係職員 等

◇定 員 70人

ね
ら
い

家庭教育支援プログラムの指導者（ファシリテーター）として、これまで以上にプログラムを効果的に活用するための知識の習得や技術の向上を目指します。

また、参加者同士の情報交換等を通して、今後プログラムを普及・定着していくための活用上の課題や改善策等を探ります。

申
込
み

研修の開始1～2か月前に開催要項と申込書を配布（広報）いたします。
受講希望者は、開催要項を御覧の上、各市町教育委員会にお申し込みください。
（総合教育センターに直接の申込みも受け付けています。）

◇その他 研修日時は、下表のとおりとなります。

研修日	6/14(水)	7/10(月)	9/1(金)	1/17(水)
研修時間	13:30～15:30	10:00～12:00	10:00～12:00	10:00～16:00

本研修は、「とちぎ県民カレッジ」の登録講座です。

研修プログラム

回	期日(曜日)	内 容 ・ 講 師	会場
1	6/14(水)	開講式 説明「親学習プログラムとは」 演習「プログラムの体験Ⅰ」 講話「家庭教育の現状と課題、その解決のために」	県生涯学習課職員 教育事務所職員 大学等職員
2	6/27(火)	演習「学びを支援するコミュニケーション」 事例発表「プログラムの実際」 演習「プログラムの体験Ⅱ」 説明「参加型の学習プログラムについて」	総合教育センター職員 活動実践者 活動実践者 総合教育センター職員
3	7/10(月)	講話「子どもの発達と生活リズム」 演習「受講者同士のよりよい関係づくりのために」 演習「親学習プログラムファシリテーター体験Ⅰ」	大学等職員 教育事務所職員 総合教育センター職員
4	7/20(木)	演習「親学習プログラムファシリテーター体験Ⅱ」 閉講式	総合教育センター職員
5	9/1(金)	講話「思春期の子どもの課題と保護者の対応」 説明「思春期版家庭教育支援プログラムとは」 演習「プログラムを体験してみよう」	大学等職員 県生涯学習課職員 地域活動実践者
6	9/27(水)	演習「プログラムを展開してみよう」 ふりかえり「プログラムをよりよく展開するために」	総合教育センター職員 総合教育センター職員
7	1/17(水)	説明「学習プログラムのアレンジについて」 演習「プログラムをアレンジしてみよう」	総合教育センター職員 総合教育センター職員

※ 部分は家庭教育支援プログラム指導者研修の他コースになりますので、参加を希望される場合は別の様式からお申し込みください。

希望研修 2/8(木) 13:00～16:00	説明「栃木県における地域教育コーディネーターの養成について」 講話・グループ協議等「地域教育コーディネーターに期待される役割」 講師等：大学等職員 活動実践者 県生涯学習課職員 会 場：総合教育センター
-------------------------------	--

〈平成 29 年度〉

青少年の情熱と行動力が地域を変える

ウィークエンド青少年セミナー

- ◇対 象 ○地域活動やボランティア活動に関心のある青少年
○大学・専門学校・高校・特別支援学校高等部・ジュニアリーダース・その他団体等で
地域活動やボランティア活動をしている青少年
- ◇定 員 30人

ねらい

次代を担う青少年が、身近な地域活動やボランティア活動に積極的に参加できるよう、演習を中心とした主体的な学びを通し、活動の企画・運営などの実践力を養います。

申込み

研修の開始 1～2 か月前に開催要項と申込書を配布（広報）いたします。
受講希望者は、開催要項を御覧の上、お申し込みください。

- ◇その他 研修時間は、10：00～15：30です。
全 5 回の 8 割以上出席した方には、修了証を授与します。
本研修は宇都宮大学との共催事業です。
本研修は、「とちぎ県民カレッジ」の登録講座です。

研修プログラム

回	期日(曜日)	内 容 ・ 講 師	会場
1	6/10(土)	開講式 体験講座「よい研修はよい雰囲気づくりから」 講話「若者には地域を変える力がある！」 事例発表「活躍の場は学校だけじゃない！」	宇都宮大学
2	6/17(土)	演習「自分を見つめてみよう」 ～自分のよさって何だろう？ 自分のやりたいことって何だろう？～ 体験講座「手軽に楽しめる工作遊び」	
3	7/15(土)	演習「自分たちも何かやってみよう！ 企画・立案編」	総合教育センター
4	7/22(土)	演習「自分たちも何かやってみよう！準備編」	
5	7/29(土)	実習「自分たちも何かやってみよう！実践編」 閉講式	

〈平成 29 年度〉
放課後活動の指導者としての力量を高める

放課後活動指導者研修

- ◇対 象 ○主として初めて放課後子ども教室・放課後児童クラブに関わる方
(コーディネーター・安全管理員・学習アドバイザー・指導員・行政の担当者等)
- ◇定 員 150人

ね
ら
い

放課後活動（放課後子ども教室・放課後児童クラブ）では、放課後等に子どもが安心して活動できる場の確保を図るとともに、次世代を担う児童の健全育成を支援することを目的としています。本研修では、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくり推進のため、主に放課後子ども教室関係者の資質向上を図ります。

申
込
み

研修の開始1～2か月前に開催要項と申込書を配布（広報）いたします。
受講希望者は、開催要項を御覧の上、各市町教育委員会にお申し込みください。
また、総合教育センターに直接の申込みも受け付けています。

- ◇その他 研修時間は、9：30～12：00です。
2／8（木）の希望研修は、「地域教育コーディネーター養成セミナー」との合同開催です。
本研修は、「とちぎ県民カレッジ」の登録講座です。
本研修は、放課後児童支援員都道府県認定資格研修は兼ねておりません。

研修プログラム

回	期日・曜日	内 容 ・ 講 師	会場
1	5/31(水)	講話「放課後活動指導者に求められるもの」	大学等職員
2	6/28(水)	演習「子どもの遊びの理解と支援 ～子どもの活動プログラムを体験しよう～」	活動実践者
3	7/13(木)	講話・演習「もしもの時も落ち着いて ～子どもを守る危機管理～」	有識者等
4	9/ 4(月)	講話「子どもを理解しよう ～子どもの発達に応じた大人のかかわり～」	大学等職員
5	10/3(火)	事例発表・講話「より良い放課後活動を目指して」	活動実践者 大学等職員

希望研修 2/8(木) 13:00～16:00	説明「栃木県における地域教育コーディネーターの養成について」 講話・グループ協議等「地域教育コーディネーターに期待される役割」 講師等：大学等職員 県生涯学習課職員 総合教育センター職員 会 場：総合教育センター
-------------------------------	---

〈平成29年度〉
地域で子どもを育む活動の充実のために

〈地域教育コーディネーター養成セミナー〉

学校と地域の連携推進セミナー

- ◇対 象
- 学校支援ボランティア及びそのコーディネートに関わる方
 - 地域で子どもを育む活動の指導者
 - 子どもの育成に関係するボランティア、団体関係者
 - 県・市町の社会教育関係職員
 - 教職員（地域連携教員・学校支援ボランティア担当者 等）

◇定 員 70人

ねらい

現在、子どもたちを取り巻く教育環境は複雑化、多様化しています。こうした中で、子どもたちがこれからの時代を生き抜く力を育んでいくためには、学校と地域が連携して子どもたちの成長を支えていく環境を整備する必要があります。

本研修では、関係者の資質・能力の向上とネットワークの構築を図り、学校と地域の連携を推進していくためのコーディネート機能の充実を目指します。

申込み

研修の開始1～2か月前に開催要項と申込書を配布（広報）いたします。

受講希望者は、開催要項を御覧の上、お申し込みください。

教職員の旅費は学校負担となりますので御承知おください。

◇その他

研修時間は、13：30～16：00です。

2／8（木）の希望研修は、「地域教育コーディネーター養成セミナー」との合同開催です。

教職員の方は、初任者・2～5年目・10年目・20年目研修の選択研修としての参加が可能です。

本研修は「とちぎ県民カレッジ」の登録講座です。

研修プログラム

回	期日・曜日	内 容	講 師	会場
1	6/1(木)	講話「今、なぜ学校と地域の連携が求められるのか」 グループトーク	大学等職員 総合教育センター職員	総合教育センター
2	8/4(金)	事例発表・研究協議「学校と地域の連携の実際から ～よりよい連携のポイントを探る～」	大学等職員 地域連携担当教職員 地域コーディネーター 総合教育センター職員	

希望研修 2/8(木) 13:00～16:00	説明「栃木県における地域教育コーディネーターの養成について」 講話・グループ協議等「地域教育コーディネーターに期待される役割」 講師等：大学等職員 活動実践者 県生涯学習課職員 会 場：総合教育センター
-------------------------------	--

〈平成 29 年度〉

地域の教育力向上を目指して

地域教育コーディネーター養成セミナー

- ◇対 象 ○県と市町教育委員会の地域教育コーディネーター養成事業関係者
○公民館・生涯学習センター等職員
○学校と地域の連携に携わる関係者（コーディネーター、地域教育協議会構成者 等）
○地域で子どもを育む活動指導者（家庭教育研修者 等）
○子どもの育成に関係するボランティア、団体関係者
○教職員（地域連携教員・学校支援ボランティア担当 等）
- ◇定 員 200人

ね
ら
い

地域教育コーディネーターの果たす役割の重要性について学び、地域課題の解決に向けた取組等の充実と住民同士の交流や協働を促すための基礎を培うことを目指します。

申
込
み

研修の開始1～2か月前に開催要項と申込書を配布（広報）いたします。
受講希望者は、開催要項を御覧の上、お申し込みください。
教職員の旅費は学校負担となりますので御承知おきください。

◇その他

研修時間は、13：00～16：00です。
なお、本研修は、「家庭教育オピニオンリーダー研修」「家庭教育支援プログラム指導者研修」「放課後活動指導者研修」「学校と地域の連携推進セミナー」に希望研修として位置づけられております。
教職員の方は、初任者・2～5年目・10年目・20年目研修の選択研修としての参加が可能です。
本研修は、「とちぎ県民カレッジ」の登録講座です。
生後6か月以上未就学児までのお子さんを対象に、一時預かり（託児）を実施します。

研修プログラム

回	期日・曜日	内 容 ・ 講 師	会場
1	平成 30 年 2/8(木)	説明「栃木県における地域教育コーディネーターの養成について」 講話・グループ協議等「地域教育コーディネーターに期待される役割」	県生涯学習課職員 大学等職員 総合教育センター職員 総合教育センター

〈平成 29 年度〉

生涯学習・社会教育に初めて携わる職員のために

生涯学習・社会教育関係職員研修 I

- ◇対象 ○生涯学習・社会教育所管課職員
○公民館・市民センター・図書館・博物館職員
○その他、生涯学習・社会教育関連施設職員
※以上に該当する職員で、勤務年数が 2 年未満の方
- ◇定員 100 人

ねらい

生涯学習・社会教育行政に初めて携わる職員に、本県の生涯学習推進体制、生涯学習関係法令・各種答申など、生涯学習推進に必要な基礎的知識を提供します。

申込み

研修の開始 1 ～ 2 か月前に開催要項と申込書を配布（広報）いたします。
受講希望者は、開催要項を御覧の上、お申し込みください。

- ◇その他 研修時間は、13：30～16：00となります。
勤務年数が 2 年以上の方の参加も受け付けています。

研修プログラム

回	期日・曜日	内 容 ・ 講 師	会場
1	4/25(火)	講話「生涯学習推進における行政職員への期待」 説明「国の関係法令・答申・計画と 本県の生涯学習推進計画について」 情報交換①「生涯学習のネットワークを作ろう」	県生涯学習課長 県生涯学習課職員 総合教育センター職員
2	5/9(火)	講話「生涯学習や社会教育について考える」 総合教育センター施設見学	大学等職員 センターボランティアの会
3	5/24(水)	演習「学習プログラムの作り方 ～魅力あるプログラムを企画してみよう～」 情報交換②「業務における期待と不安」	県生涯学習課職員 総合教育センター職員

〈平成 29 年度〉
専門的指導者として、スキルアップを目指して

生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅱ

- ◇対象 ○生涯学習・社会教育所管課職員
○公民館・市民センター・図書館・博物館職員
○その他、生涯学習・社会教育関連施設職員
- ◇定員 100人

ねらい

生涯学習の振興や社会教育の推進に向けて、先進事例の紹介や国の動向を知ることで広い視野を持ったり、演習を通して技能の向上を図ったりすることでスキルアップを目指します。

申込み

研修の開始1～2か月前に開催要項と申込書を配布（広報）いたします。
受講希望者は、開催要項を御覧の上、お申し込みください。

◇その他 研修時間は、13：30～16：00となります。

研修プログラム

回	期日・曜日	内 容 ・ 講 師	会場
1	1/24(水)	事例発表「がんばる職員の実際」 演習・協議「人が集まる事業や講座を考える」	市町教育委員会 生涯学習課職員 総合教育センター職員
2	2/20(火)	講話「これからの社会教育行政のあり方」 情報交換・ふりかえり「これからの自分を考える」	大学等職員 総合教育センター職員

〈平成 29 年度〉

人権尊重の精神を涵養する人権教育の推進を目指して

人権教育指導者専門研修

- ◇対 象 ○県・市町の人権教育担当者
 ○県・市町の社会教育関係職員
 ○教職員 等
- ◇定 員 50 人（受講指定者を含む）

ねらい

人権尊重の精神の涵養を図るため、指導者としての資質・能力の向上を目指すとともに、教育・啓発を効果的に進めるための方策について研修します。

また、生涯学習の観点に立ち、学校教育と社会教育の連携と相互理解を図りながら今後の人権教育の一層の推進を目指します。

申込み

研修の開始 1 ～ 2 月前に開催要項と申込書を配布（広報）いたします。

研修希望者は、開催要項を御覧の上、お申し込みください。

受講指定者以外の教職員の旅費は学校負担となりますので御承知おきください。

- ◇その他 研修時間は、9：30～16：00です。
 全 6 回の 8 割以上出席した方に修了証を授与します。

研修プログラム

回	期日・曜日	内 容 ・ 講 師		会場
1	6/13(火)	○開講式 ○講話「本県の人権教育推進の在り方」 ○事例発表「市町における人権教育の取組」 ○フィルムフォーラム「人権意識を高めようⅠ」 ○研究協議「人権教育を推進するために」 ○オリエンテーション 現地研修に向けて	人権教育室長 市町教育委員会職員 総合教育センター職員 総合教育センター職員 総合教育センター職員	総合教育センター
2	6～7月に2回実施※	現地研修「同和問題を考える」 ・講話・視察・体験発表・情報交換 ※2回実施するうちのいずれかを選択	団体職員 県人権教育室職員 教育事務所職員 総合教育センター職員	関係市町
3	7/24(月)	○演習「人権意識を高めようⅡ」 ・施設見学・講話・ふりかえり等	施設職員 等 総合教育センター職員	総合教育センター 関係施設
		○演習「参加体験型学習を取り入れた人権教育」 ・説明・体験	教育事務所職員 総合教育センター職員	
4	8月上旬	○現地研修「人権意識を高めようⅢ」 【栃木県社会福祉協議会との合同開催】 ・講話・体験活動・ふりかえり等	専門職員 総合教育センター職員	関係施設
5	9/5(火)	○研究協議・演習「人権学習を企画しようⅠ」 A:学習指導案(教員対象) B:教職員研修プログラム(教員対象) C:人権教育講座プログラム(行政職員等対象) ・説明・指導計画の見直し・研修計画の作成 ・プログラム(研修計画)の旅・修正 ○講話「未来へつなげよう!違いを認め合う心!」	A:総合教育センター職員(研修部) B・C:生涯学習課職員 総合教育センター職員(生涯学習部) 有識者	総合教育センター
6	9/26(火)	○研究協議「人権学習を企画しようⅡ」 ・発表会・協議 ・講評 ○講話「人権が尊重された社会をつくるために」 ○閉講式	総合教育センター職員 教育事務所職員 大学等職員	

〈平成 29 年度〉

新任地域連携教員研修

- ◇対 象 ○平成 29 年度の新任地域連携教員（小・中・高・特別支援学校）
〔昨年度中に地域連携教員になった者で、この研修を受講していない者を含みます。
ただし、社会教育主事有資格者は、第 2 日を免除とします。聴講することは可能です。〕

ね
ら
い

地域連携教員としての職務、今日的な教育課題、地域連携の進め方等について理解を深め、
地域連携教員としての資質の向上を図ります。

申
込
み

【小・中学校】

- 校長が、該当する教員を 4 月当初に市町教育委員会教育長に報告します。
- 総合教育センター所長が受講者を指定し、市町教育委員会教育長から、4 月下旬に校長に通知します。

【高等学校・特別支援学校】

- 総合教育センター所長が、各研修開催要項に示してある対象と定員及び「専門研修 1 対象者及び学校割当」によって、4 月 1 日付けで学校宛に受講者を割当てます。
- 校長は、学校に割当てられた研修の受講者を、「受講者報告名簿」によって 4 月 10 日までに総合教育センター所長に報告します。
- 総合教育センター所長は、その報告に基づいて受講者を指定し、4 月 25 日付けで校長に通知します。

- ◇その他 研修時間は、9：30～16：00 です。（受付 9：00～9：30）
社会教育主事有資格者が第 2 日を聴講する場合は、旅費は学校負担となります。
「地域連携教員のための手引き書（平成 29 年 3 月 栃木県教育委員会）」、平成 28 年度
地域連携教員活動支援事業資料「学校と地域を結ぶ～学校と地域の連携を進めるノウハウ」
（リーフレット）を持参してください。その他の持参物、予定していた講師の変更等がある
場合は、センターホームページでお知らせします。

研修プログラム

回	期日・曜日	内 容 ・ 講 師	会場
1	6/16(金)	説明「地域連携教員の設置」 講話「地域連携教員への期待」 事例発表「地域連携教員の活動の実際」 情報交換・研究協議「地域連携教員のマネジメントⅠ ～自校の地域連携活動のデザイン～」 大学等職員 地域連携教員 生涯学習課職員 総合教育センター職員	総合 教育 セ ン タ ー
2	10/16(月)	シンポジウム「連携活動を円滑に進めるためにⅠ ～コーディネーター機能の充実～」 講話・演習「連携活動を円滑に進めるためにⅡ ～ビジョンの共有～」 演習「地域連携教員のマネジメントⅡ ～活動計画を見直す～」 地域コーディネーター 生涯学習課職員 総合教育センター職員	

〈平成 29 年度〉

16ミリ講習会の企画・指導のために

16ミリ映写機技術指導者研修

◇対 象 ○16ミリ映写機技術者養成講習会の指導者(予定者)

○16ミリ映写機技術修得証明書取得者

◇定 員 20名

ねらい

視聴覚教材・機材の利用促進を図るため、市町等において行われる16ミリ映写機技術者養成講習会の指導者を養成します。

16ミリ映写機技術修得証明書取得者の技術及び資質の向上を目指します。

申込み

研修の開始1～2か月前に開催要項と申込書を配布(広報)いたします。

受講希望者は、開催要項を御覧の上、お申し込みください。

- ◇その他
- ・研修時間は、14:00～16:30です。
 - ・本研修は、16ミリ映写機技術修得証明書を取得された方を対象といたします。
 - ・テキスト「視聴覚教材の効果的利用法」をお持ちください。
(お持ちでない方は御相談に応じます。)
 - ・本研修は、隔年(次回予定:平成31年度)で開催します。
(指導予定者の方は計画的に受講されるようお願い致します)

研修プログラム

回	期日・曜日	内 容	講 師	会場
1	5/17(水)	講話「16ミリ講習会の企画・運営について」 実習「16ミリ映写機操作指導のポイント」	総合教育 センター職員	総合教育 センター

〈平成 29 年度〉
より自分を高めるために

ライフアップセミナー

◇対 象 ○関心のある方ならどなたでも
◇定 員 ○特になし

ねらい

栃木県総合教育センターが主催する各種研修の中から、より多くの人に聞いていただきたい内容のものを一般に開放し、県民の皆様へ幅広い学びの機会を提供します。

申込み

5 月（前期分）・9 月（後期分）に開催要項と申込書を配布（広報）いたします。
受講希望者は、開催要項を御覧の上、お申し込みください。

◇その他

本研修は「とちぎ県民カレッジ」の登録講座です。

〈平成 29 年度〉
学びたいあなたへ 大人の学びや親子の学びを応援！！

生涯学習推進セミナー

公開講座「学びの杜の夏休み」

◇対 象 ○県民（子ども～大人まで）
◇定 員 ○各講座 20～30 名程度

ねらい

総合教育センターの設備を生かし、センター職員の専門性を生かした講座や関係機関と連携した講座を提供し、生涯学習社会の実現に向けて、多様な学びの支援、人材の育成、ネットワークの構築を図ります。

申込み

講座実施の 1～2 か月前に開催要項を配布（広報）いたします。
受講希望者は開催要項を御覧の上、「とちぎレインボーネット 申込フォーム」よりお申し込みください。（<http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>）

◇その他

対象や定員は各講座により異なります。
【7 月 29 日（土）】を予定しています。
本研修は「とちぎ県民カレッジ」の登録講座です。

Ⅵ 栃木県総合教育センター内 生涯学習関係施設 案内



学習情報センター・栃木県生涯学習ボランティアセンター
栃木県視聴覚ライブラリー



図書資料室



◇学習情報センター

- ①開 館 10:00～17:00
※休館日：第1・3日曜日（ただし、8月第3日曜日の8/20は開館します）
国民の祝日、年末年始（12/28～1/4）
※平成29年度臨時休館日
5/6 5/13 8/13
- ②対 象 どなたでも利用できます。
- ③内 容 学習相談、情報提供、学習活動支援 等
- ④利用方法 来館、電話、FAX、インターネット、メールで利用できます。
- ⑤問い合わせ 電 話 028-665-7206 F A X 028-665-7219
※専任の職員が相談に応じています。

一栃木県学習情報提供システムー 「とちぎレインボーネット」

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/information/>

※2017年2月現在のトップページ

栃木県学習情報提供システム

とちぎレインボーネット

「とちぎレインボーネット」はみなさんの学びを応援します

皆さまの学びを応援します
「とちぎ県民カレッジ」

とちぎ子どもの未来創造大学

TOPICS

※掲載情報以外の事業等は、「ご案内：生涯学習部事業案内」からご案内しています。

- 初心者のためのパソコン講座「写真フレームを使ったはがきを作ろう」(2/12掲載)
- 地域教育コーディネーター養成セミナー実施報告(2/12掲載)
- 平成27年度 第7回 栃木県メディアボランティア自主講座活動報告(1/28掲載)
- 初心者のためのパソコン講座「一筆箋を作ろう」(1/6掲載)
- 家庭教育オピニオンリーダー研修実施報告⑦(1/6掲載)
- 社会教育主事・社会教育関係職員等実践フォーラム(12/24掲載)
- 「学びの杜～ふれる・つくる・考える～」活動報告(12/24掲載)
- 「とちぎの学び」広域講座 とちぎの魅力を学ぶ2 実施報告(12/31掲載)
- 情報エラール指導者研修実施報告(12/31掲載)

SEARCH

- イベント情報
- 県民カレッジ講座情報
- ボランティア情報
- 生涯学習施設情報
- 視聴覚教材情報
- 調査研究情報
- 図書資料情報
- 研修情報

CONTENTS

- 生涯学習部のページ
- とちぎの子育て家庭教育支援
- 学習情報センター
- 視聴覚ライブラリー
- 生涯学習ボランティアセンター
- 総合教育センター図書資料室
- ダウンロードサービス
- リンク集
- 相談受付



【SEARCH】

○県内の生涯学習に関する
各種情報が検索できます。

【CONTENTS】

○生涯学習部に関する各種
事業案内を掲載しています。

◇栃木県生涯学習ボランティアセンター

(体験活動ボランティア活動支援センター)



- ① 開 館 10:00～17:00
※休館日：第1・3日曜日
(ただし、8月第3日曜日の8/20は開館します。)
国民の祝日、年末年始(12/28～1/4)
※その他利用できない日
5/6 5/13 8/13
- ② 対 象 どなたでも利用できます。
- ③ 内 容
 - ・ボランティアをしたい方の相談、登録
 - ・ボランティアを受け入れたい施設や団体等の相談、登録
 - ・ボランティアの紹介、情報提供
 - ・広報紙年2回発行(9月「みのり」・3月「めぶき」)
 - ・一日出張相談(平成29年は6月17日の県民の日イベントにて開催)

④ 利用方法 来館、電話、FAX、メール

⑤ ボランティアの活動分野

生涯学習、福祉、産業、経済、美術、書道、音楽、舞踊、演芸、文学、語学、自然科学、社会科学、生活、趣味、スポーツ、レクリエーション、家庭教育支援、祭り、文化財 等



【一日出張相談】



【広報紙「みのり」・「めぶき」】



【ボランティア関係図書】

⑥ 「とちぎかがやきネット」(<http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/kagayaki/>)

栃木県生涯学習ボランティア活動支援情報提供システム「とちぎかがやきネット」では、生涯学習ボランティアに関わる様々な情報を提供しています。

【情報検索】

ボランティアに関するイベント・講座、ボランティアセンター登録者、ボランティア受入れ情報等の検索ができます。

【ボランティアセンターマップ】

栃木県内のボランティアセンターの情報を掲載しています。

2017年3月現在のとちぎかがやきネットのトップページです。

※「とちぎかがやきネット」は「とちぎレインボーネット」からもアクセスできます。

⑦ その他

ボランティア関係の図書もあります。

⑧ 問い合わせ TEL: 028-665-7207 FAX: 028-665-7219 ※専任の職員が相談に応じます。

◇ 栃木県視聴覚ライブラリー

①開 館 10:00～17:00

※休館日：第1・3日曜日（ただし、8月第3日曜日の8/20は利用できます。）

国民の祝日、年末年始（12／28～1／4）

※平成29年度臨時休館日 〈5/6 5/13 8/13〉

②対 象 どなたでも利用できます。※教材の一部は、団体貸出となります。

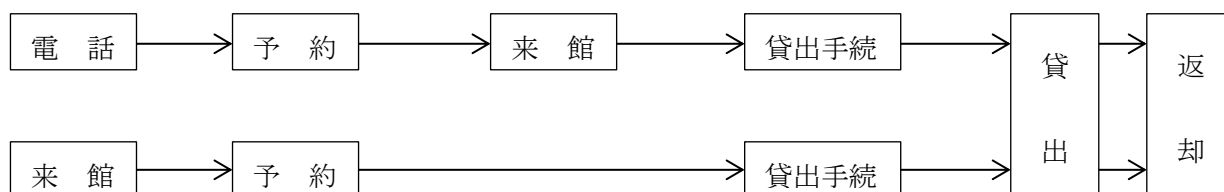
③種 類 【教 材】DVD、ビデオテープ、16mm映画フィルム、スライド

【教 具】プロジェクター、デジタルビデオカメラ、16mm映写機、スライド映写機、OHP、ビデオ映写機、ビデオデッキ、スクリーン

【その他】ビデオ編集機、スタジオ、試写

④貸出期間 8日間（原則3点まで）

⑤貸出方法



※借用の予約・申請は、使用日の2か月前から受け付けます。

※郵送による貸出も可能です。ただし貸出・返却にかかる費用は利用者負担となります。

※来館の際は、「印鑑」を御持参ください。

※16mm映画フィルムの貸出には、16mm映写機技術習得証明書番号が必要です。

⑥平成28年度購入視聴覚教育用教材

	タイトル名	時間	分野・領域等
1	わっかカフェへようこそ～ココロまじわるヨリドコロ～	35分	人権教育
2	ゼロからはじめる主権者教育 18歳の選挙権	20分×2本	主権者教育

※視聴覚ライブラリーの所蔵作品は、「とちぎレインボーネット」で検索できます。

⑦お問い合わせ 【電 話】028-665-7207 【FAX】028-665-7219

※専任の職員が応対いたします。

◇図書資料室

① 開 館 10:00～17:00

※休館日：第1・3日曜日(ただし、8月第3日曜日の8/20は開館します。)
国民の祝日、年末年始〈12/28～1/4〉

※平成29年度臨時休館日〈5/6 5/13 8/13〉

② 対 象 どなたでも利用できます。

③ 内 容 ・資料の貸出
・資料の複写・複製サービス
・資料に関する相談受付

④ 資 料 ・図書資料

教育一般	教育学	教育思想	教育史・事情	教育政策
教育制度	教育行財政	学校経営・管理	学校保健	
教育課程	学習指導	教科別教育	幼児・初等・中等教育	
大学・高等・専門教育	学術行政	障害児教育	社会教育	

・教育資料

教育一般	教育原理・教育思想	各国の教育・教育史
教育行財政	学校経営・管理	教育内容・教育方法
教科・領域	幼児・初等・中等・高等教育	特別支援教育
教育調査・教育研究・教育統計	教育と社会	社会教育・生涯学習
栃木県の資料		

・教育雑誌

教育委員会月報	初等教育資料	中等教育資料	高校教育
総合教育技術	授業力&学級経営力	生徒指導	指導と評価
道德教育	人権と部落問題	国語教育	実践国語研究
社会科教育	数学教育	新しい算数研究	算数授業研究
理科の教育	理科教室	英語教育	教育音楽小学版
教育音楽中学・高校版	教育美術	家庭科研究	体育科教育
実践障害児教育	特別支援教育研究	特別支援教育	産業と教育
教職研修	教育と医学	そだちの科学	学校図書館
学校教育相談	児童心理	幼児教育じほう	発達
社会教育	月刊公民館	等	

⑤ 貸出期間 2週間(10冊まで)

⑥ 貸出方法 ⇒(貸出カード発行申請)⇒ ⇒

⑦ 問い合わせ 電 話：028-665-7206 (生涯学習部内)

FAX：028-665-7219

※専任の職員が相談に応じます。

◆教育関係の図書をはじめ、県内外の教育関係資料や専門誌を備えています。

◆生涯学習・教科書・新聞などのコーナーがあります。

◆インターネットからの資料検索も可能です。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/finder/>



VI バス案内

- ◇総合教育センターの最寄り停留所は【野沢寺前】になります。
- ◇停留所の場所は栃木県総合教育センター案内図をご覧ください。
- ◇停留所から総合教育センターまでは、徒歩で約15分かかります。

【行き】 JR 宇都宮駅西口 ⇒ 野沢寺前 [約25分]

時間	平 日	土 曜	日 祝
7	00 10 30 40 50	00* 10 30* 40*	00* 30*
8	00 10* 20* 30* 50*	00 10* 30* 50*	00* 10 30* 50*
9	10* 30 50*	10* 30 50*	10* 30* 50*
10	05* 25 45*	05 25* 45	05 45
11	05* 25* 45	05* 25* 45	05* 25* 45*
12	05* 25* 45	05* 25* 45*	05* 25 45
13	05* 25* 45*	05* 25 45	05* 25* 45
14	05* 25 45*	05* 25 45*	05* 25* 45*
15	05 25* 45*	05 25* 45*	05* 25 45*

*はスロープ付きバス

○JR 宇都宮駅西口の乗り場は【⑧番】です。

○系統は、【日光東照宮・今市車庫・山王団地・船生・石那田】方面をご利用ください。

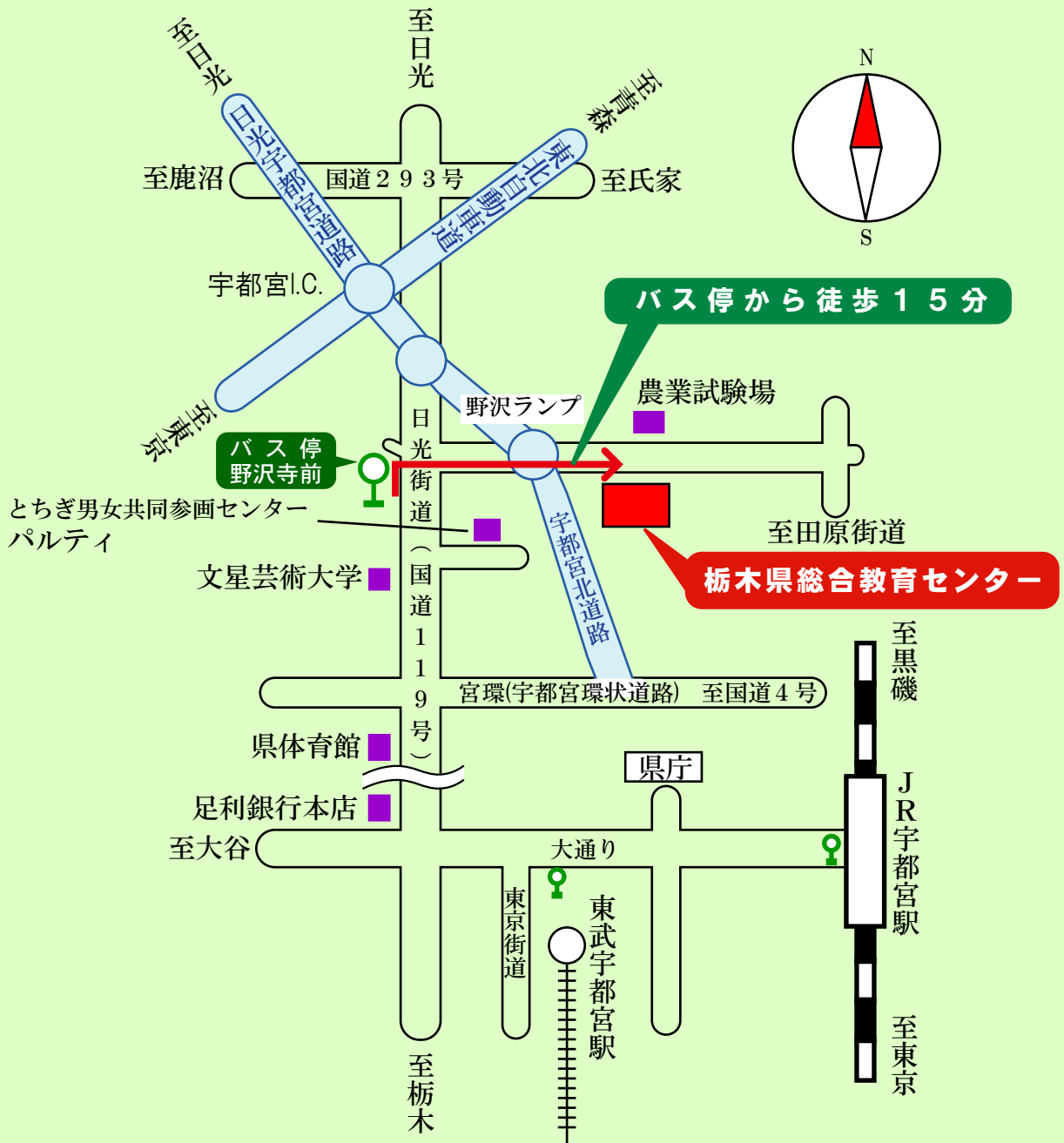
※【東武宇都宮駅前】停留所をご利用の方は、JR 宇都宮駅西口発の約5分後に到着となります。

【帰り】 野沢寺前 ⇒ JR 宇都宮駅西口 [約35分]

時間	平 日	土 曜	日 祝
10	10 20 32* 55	10* 32* 55*	17* 37* 55*
11	15* 32 55*	15 32* 55*	15 32 55*
12	12* 35* 55*	12* 35* 55*	12* 35* 55*
13	15 32* 55*	15 32* 55*	15* 32 55*
14	12* 35* 55*	12* 35 55*	12* 35* 55*
15	15 32* 55*	15* 32 55*	15 32* 55*
16	15* 35* 58*	15* 35* 55*	15* 32* 55*
17	13 27 45 58	13 27* 45 55	22* 45* 55*

*はスロープ付きバス
H29.2.23 現在

栃木県総合教育センター案内図



アクセス

◆関東バス利用

- ・ J R宇都宮駅西口（8番のりば）約10km
バス乗車時間 約30分＋徒歩 約15分
- ・ 東武宇都宮駅
（大通り沿いバス停：東武駅前） 約9km
バス乗車時間 約25分＋徒歩 約15分

系統：56今市・日光東照宮行、58船生行、52山王団地行、52石那田行
↓
野沢寺前下車 徒歩 約15分

◆タクシー利用

- ・ J R宇都宮駅西口から 約 1 0 Km 2 5 分
- ・ 東武宇都宮駅から 約 9 Km 2 0 分

◆東北自動車道利用

- ・宇都宮I.C.から車で5分
(宇都宮北道路野沢ランプを下りてすぐ)



<http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/information/kenkare/top.html>



<http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/kagayaki/>



<http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/kodomo-daigaku/>

栃木県総合教育センター 生涯学習部

〒320-0002

栃木県宇都宮市瓦谷町 1,070

TEL : 028-665-7206 FAX : 028-665-7219

E-mail : shogai-c@tochigi-edu.ed.jp